

人とちがつていい

小二

わたしのクラスに、ずっとマスクをしている友だちがいました。その友だちは、きゅう食のときもマスクをはずしません。マスクの下のすき間からきゅう食を口にはこんでいたべました。それを見ていたべつの友だちが、「マスクをはずしたら」と言いましたが、その子はマスクをはずしきませんでしたが、その子はマスクをしていました。

わたしは、そのとき、「どうしてはずさないのだろう。」とふしぎに思いました。でも、あとになつてコロナウイルスがはやつていたときには、ずっとマスクをつけてすごしていました。そこで、マスクをはずすことになつてしまつた人がいることにふあんをかんじるようになつてしまつた人があつたことを知りました。これまでのわたしは、マスクをはずすことなどが当たり前だと思つていたけれど、みんなが同じ気持ちではないことに

気がつきました。その子に  
とつては、マスクをつけたま  
までいることがあんしんなん  
だと思います。だから、「はず  
したほうがいいのに。」ときめ  
つけるのではなく、「その子が  
あんしんできるほうがいい。」  
と思うようになりました。

このことから、友だちや家  
ぞくと考えがちがつていってい  
い自分の気もちはつたえてい  
し、あいての考え方聞くこと  
が大切だとかんじました。  
そして、自分とはかんじか  
たや思っていることがちがうか

人がいるのは、おかしいこと  
ではなく、当たり前のことだ  
と分かりました。  
だからこれからは、あいて  
のことを考えてこうどうして、  
自分が思っていることをつた  
えられる人になりたいです。  
、